

CSR

従業員一人ひとりが、 信頼回復に向けて日々の業務を確実に遂行していけるよう、 CSR活動の一層の充実を図ってまいります

CSRの更なる推進

当社グループの事業活動は、お客さま、地域社会、取引先、株主・投資家、従業員、そのほか社会の多くのステークホルダーにより支えられています。私たちは、様々なCSRの実践を通じて、企業としての使命を果たし、みなさまから寄せられる様々な期待に、誠実にお応えすることで得られる「信頼」こそが、持続的に成長を遂げていくための基盤となると考えています。

そこで、当社グループは、従業員一人ひとりがCSRの推進に主体的・前向きに取り組むことができるよう、グループ一体となって、社内環境の整備を図っています。

具体的には、2004年3月、6つの行動原則からなる「関西電力グループCSR行動憲章」を策定し、さらに2005年5月には、グループの従業員一人ひとりがこれを自らの行動として実践できるよう「関西電力グループCSR行動規範」を定めました。

また、推進体制として、社長を議長とする「CSR推進会議」を設置するとともに、それぞれの職場においてCSR推進のための「CSRキーパーソン」等を選任し、彼らへの研修やコミュニケーション等を通じて全従業員への啓発活動を展開しています。

当社グループは、こうした活動を通じて、日々の業務とお客さまや社会との変化を踏まえつながりをはっきりと意識し、従業員一人ひとりがCSRを推進しています。

常にステークホルダーのみなさまの立場に立って考え、使命感を持って自らの業務を確実に遂行することで、信頼を賜り、それが従業員一人ひとりのやる気・やりがいを引き出し、成長を促していく、そうした「信頼を軸とする好循環」が継続する会社でありたいと願っています。（取り組み状況については、「CSRレポート」にまとめ、公表しています。）

ライフライン事業者としての使命と責任

●安全文化構築に向けてのたゆまぬ努力

安全はすべての事業活動の根幹であり、社会から信頼をたまる源であると考えています。また、すべての業務の品質向上や将来の成長のために欠かせないものであり、たゆまぬ努力によって、安全確保を最優先とする事業活動を継続し、その実績を積み重ねています。協力会社をはじめ、当社グループ事業を支えるすべてのパートナーのみなさまとの日常的な双方向コミュニケーションを通じて、安全意識の共有や相互啓発、リスク低減活動を推進し、グループワイドでのより高いレベルのゆるぎない安全文化（関西電力安全文化圏）の構築に努めています。

●安全・安定供給を支える人材の育成

当社は、商品・サービスを安全かつ安定的にお届けするため、毎年、継続的に採用をおこなうとともに、体系的、反復的な教育・訓練を継続して実施することで、専門性を備えた人材の育成を図っています。技術・技能の維持継承については、専門技術・技能者制度や個々人の技術力を把握するシステムの導入などさまざまな取組みを推進することで、これまで蓄積してきた技術・技能をグループ全体で確実に伝承し、レベルアップを進めております。

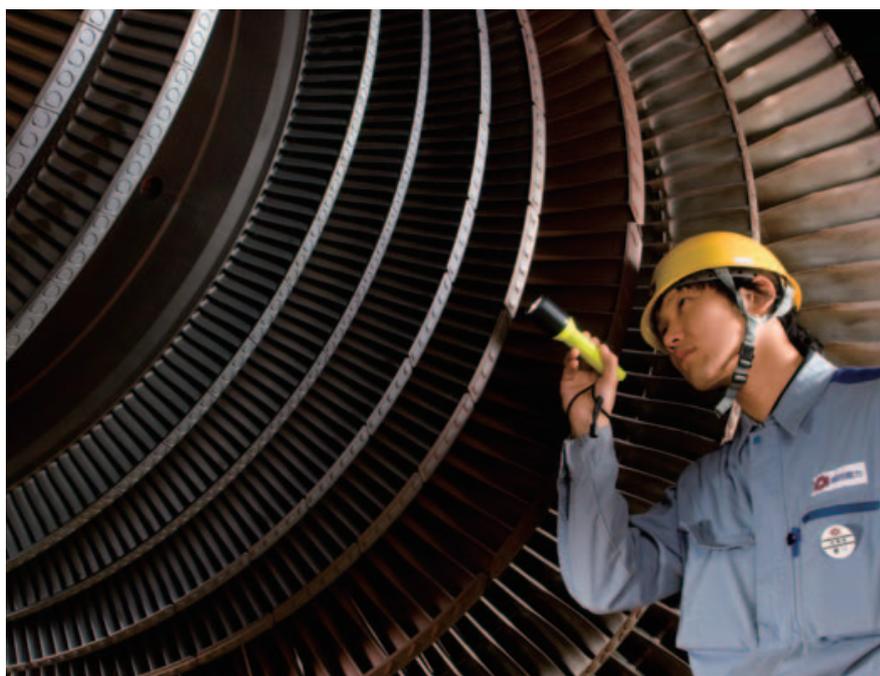
●経営資源の着実な投入

設備面においても、安全・安定供給のために必要な経営資源を着実に投入していきます。とりわけ、経営の基軸となる原子力においては、世界最高水準の安全性を目指して、信頼性向上対策や高経年化対策などの工事を着実に実施していきます。

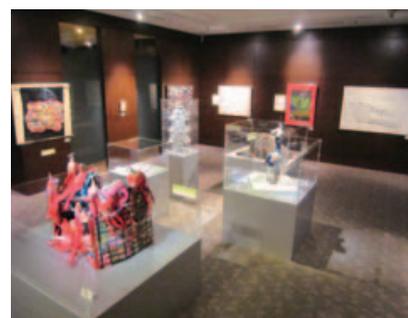
関西電力グループCSR行動憲章

CSR行動原則

1. 商品・サービスの安全かつ安定的なお届け
2. 環境問題への先進的な取組み
3. 地域社会の発展に向けた積極的な貢献
4. 人権の尊重と良好な職場環境の構築
5. 透明性の高い開かれた事業活動
6. コンプライアンスの徹底



発電所のタービン点検作業



かんでんコラボ・アート21



無限の可能性を拓く～かんでんエルハート～

地域社会の発展に向けた積極的な貢献

当社グループは、地域や生活に根ざした事業者として、地域の発展なくしては自らの発展はありえないという認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取組みを推進しています。

地域社会の一員として、「地域のみなさまのお役に立ちたい」という思いをかたちにするため、各事業所では地域と連携し、清掃活動や地域イベントへの運営協力など、地域のニーズに応える活動を展開しています。

また、障がいのある方の芸術活動を応援するためのアート公募展「かんでんコラボ・アート21」の開催、関西地域の文化振興活動としてのクラシックコンサートの開催、関西で盛んな学生スポーツのひとつであるアメリカンフットボールへの協賛など、様々な活動に継続して取り組んでいます。

当社グループは、電力の安全・安定供給で、そして地域・社会貢献を通じて地域のみなさまのお役に立ちたいと考えています。

人権の尊重と良好な職場環境の構築

当社グループは、「人権の尊重」を国際的な合意に基づく重要な責務であると認識し、グループの事業活動に関わるすべての人々にとって、差別のない、安全・健康で働きやすい職場づくりに努めています。

具体的には、女性社員のさらなる活躍に向けた取組みや、高齢者雇用の推進、障がいのある方の自立と社会参加を目的とした雇用の促進などに取り組むとともに、従業員の安全意識の高揚・自主的な心身の健康づくりのサポートに取り組んでいます。

また、2011年度からは、全従業員を対象に、一人ひとりの違いを強みとして捉え、活かす取組みを専任するダイバーシティ推進グループを新設し、活動範囲を広げています。

コンプライアンスの徹底

2002年、さらなる信頼の確立と風通しのよい企業文化の醸成を目的に、「関西電力コンプライアンス委員会」を設置しました。同委員会のもと、当社グループでは、コンプライアンスを「企業が社会に存在するうえで求められる責務」であり、「企業のすべての活動基盤」であると位置付け、法令などの社内外の規則の遵守はもとより一人ひとりのコンプライアンス意識向上に鋭意取り組んできました。

これからも、当社グループでは、コンプライアンス活動に主体的かつ着実に取り組み、社会のみなさまから賜る信頼を確固たるものにしていきます。